

屋根・金属用
(上塗材)

セミフロンルーフII

セミフロンルーフIIは、4フッ化フッ素樹脂からなる、2液常温反応硬化形の弱溶剤フッ素樹脂塗料です。耐候性を向上させた4フッ化フッ素樹脂を採用し、雨筋汚れなどの汚染が少ない塗膜を形成します。さらに無機成分の導入により、従来のフッ素樹脂と比べ高い耐候性を有しております。また、溶剤の溶解力が弱く下地を侵すことが少ないことから、幅広い種類の下地塗膜に塗装することが出来ます。

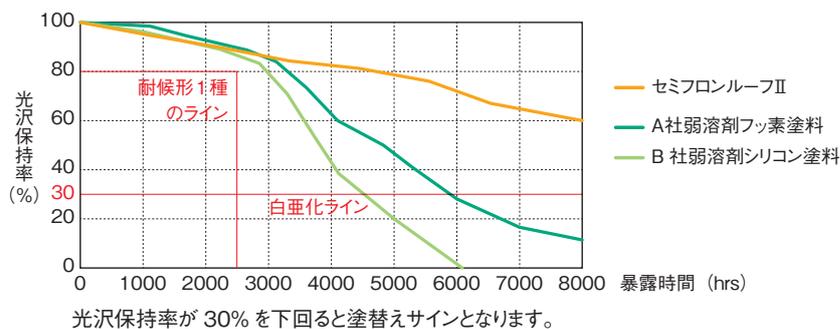
特長

- 1) 常温で硬化し、反応硬化形なので耐候性・耐汚染性に優れています。
- 2) 高耐候性能を有する為、メンテナンス周期の延長が可能になります。
- 3) 従来のフッ素樹脂塗料に比べて、耐屈曲性、耐クラック性に優れています。
- 4) 低汚染性を有していることから建物を長期間に渡り美しいまま保護します。

促進耐候性試験 (XWOM)

JISK 5600-7-7 サイクルA キセノンランプ法

耐候形 1 種相当品



適用下地

屋根：新生瓦 (スレート、コロニアル)、和風・洋風 (モニエル) セメント瓦、鋼板、トタン等塗替え塗膜のトップコート

塗料性状

項目	内容
1 混合比	7:1
2 色	各色
3 艶	艶有り
4 比重	主 剤:1.2、硬化剤:1.04
5 固形分	主 剤:69、硬化剤:83
6 外 観	主 剤:有色液体 硬化剤:淡黄色透明液体
7 消防法による危険物区分	主 剤:第4類 第2石油類 硬化剤:第4類 第2石油類
8 労衛法による表示対象物	主 剤:エチルベンゼン 硬化剤:エチルベンゼン、メタノール

塗装条件

工法	材料名	塗回数	塗布量(kg/㎡/回)	希釈	塗装間隔(20℃)	塗装用具
上塗	セミフロンルーフII	2	0.15~0.18	塗料用シンナーA 0~20%	工程間4時間以上7日以内 最終養生24時間以上	刷毛、ローラー、 スプレー

※下塗り材は素地、旧塗膜の状態により適合下塗り材より選定下さい。

可使用時間及び塗装間隔

季節	気温	可使用時間	塗装間隔
夏	25~35℃	3時間以内	2時間以上~7日以内
春・秋	15~25℃	5時間以内	4時間以上~7日以内
冬	5~15℃	8時間以内	6時間以上~7日以内

荷姿

16kgSET	14kg/2kg
4kgSET	3.5kg/0.5kg

適合下塗材

セミフロンルーフバインダーSi II・KFマイルドシーラーII・KFマルチウレタンプライマー・セミフロンエポプライマーII

使用上の注意

- 1) 主剤と硬化剤の配合割合は厳守して下さい。配合割合を誤りますと、成膜不良が発生します。また、十分な塗膜性能が発現できませんのでご注意下さい。
- 2) 2液反応硬化型塗料のため、可使用時間を超過して使用しますと性能低下及び層間密着性を低下させる原因となります。可使用時間を厳守し、必ず可使用時間内に使い切ってください。
- 3) 硬化剤は、湿気硬化性ですので、使用後は必ず密栓し、水分混入の無い様に保管して下さい。
- 4) スレート屋根の重なり部分に塗料が付着し固着している場合、漏水の原因になります。タスペーサーを用いるか、皮スキ、カッターなどを用いて溜まった塗料を除去、縁切りしてください。
- 5) 波型トタンの場合、山部、折り曲げ部は塗料が薄くなり易い箇所になります、先に拾い塗りしてください。
- 6) 以下の場合は、塗装出来ませんのでご注意下さい。
 - ・天候が悪い(降雨、降雪、強風)場合。
 - ・湿度が85%以上ある場合。
 - ・気温が5℃以下の場合や、施工後数時間以内に5℃以下になる可能性がある場合。
- ・被塗物が水で塗れているたり、錆、油等の遺物が付着している場合。
- 7) 0℃以下の場所や直射日光の当たる場所での材料の保管は避けて下さい。
- 8) 塗膜を暗所にて長時間放置しますと塗膜がやや黄変することがございますが、太陽光を受ける事により間もなく消失します。
- 9) 取り扱いには慎重に扱い、ラベルの注意事項に従ってください。詳細についてはSDSをご参照下さい。

安全衛生上の注意

- 本来の用途以外に使用しないで下さい。
- 使用前に取扱説明書を理解して、取り扱ってください。
- 粉じん/ガス/蒸気/スプレーなどを吸入しないで下さい。
- 取扱後は、手洗い及びうがいを十分に行ってください。
- 必要に応じて個人用保護具を使用して下さい。
- 飲み込んだ場合：気分が悪い時は、医師に連絡して下さい。口をすすいで下さい。
- 粉じん、蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなったときには、安静にし、必要に応じてできるだけ医師の診断を受けて下さい。
- 暴露した時、気分が悪いなどの症状がある場合は、医師に連絡して下さい。
- 緊急の洗浄剤が必要な場合、直ちに特別処置を実施する。
- 容器からこぼれた時には、砂などを散布した後処理して下さい。
- 施錠して子供の手の届かないところに保管して下さい。
- 直射日光や水漏れは厳禁です。
- 塗料などの缶の積み重ねは3段までとして下さい。
- 日光から遮断し、換気の良い場所で保管して下さい。輸送中も50℃以上の温度に暴露しないで下さい。
- 内容物/容器を廃棄する時には、国/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄して下さい。 ※上記の表示は一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。 □詳細な内容、表示例以外の事項については、製品安全データシート(SDS)をご参照下さい。 □本商品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談下さい。